平成 26 年度「スタッフ向け環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（関東・甲越ブロック/茨城開催）」実施状況

広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画を作ろう！

～個人の知識・スキル（企画/提案力・ファシリテーション力・広報力・資金獲得力等）を飛躍的に高めつつ、相談できる仲間を増やし、アイデア・事業を次なるステージへ～

１．目的・ねらい

NGO・NPO の人材力・企画力・広報力・資金獲得力・協働力、その他組織・プロジェクト運営力を飛躍的に向上させ、その活動を強化し、地域・地球規模の環境問題解決・持続可能な循環型社会構築をはかる。

上記目的の達成のために、具体的な次の下位目的をおきました。

①環境 NGO・NPO のスタッフの、課題解決に実際に役立つ組織・プロジェクト運営に関する知識・技能（課題発見力・マーケティング力・企画/提案力・マネジメント力〈ミーティングファシリテーション力等〉・コミュニケーション力・広報力・資金獲得力等）の習得・向上を促進する。

②環境 NGO・NPO スタッフによる、個々の団体の特色・実情に適した効果的な組織・プロジェクト運営改善戦略・計画（広報・資金獲得戦略等）の策定、及び、所属団体内での改善戦略・計画の推進を支援する。

③環境 NGO・NPO スタッフ・中間支援組織・プロボノ・専門家・行政・地域住民・事業者等のネットワーク構築を図り、NGO・NPO の組織運営力・活動推進力向上と環境問題解決に向けた多様なセクターの取組み・協働を促す。（特に、関東地域の環境 NGO・NPO スタッフの中間支援組織・専門家・プロボノ等のアドバイザー獲得による組織運営力・活動推進力向上、及び、関東地域の環境 NGO・NPO の行政・事業者・他の NGO・NPO 等との協働強化・新規プロジェクト立上げにより、関東地域の環境問題の解決の起爆剤とする。）

２．実施概要

地球温暖化・生物多様性喪失等の環境問題は深刻化し続けており、こうした状況を転換させるには、民間団体（NGO・NPO 等）の活動の強化が不可欠である。しかし、多くの NGO・NPO の組織・プロジェクト運営力は脆弱であり、リーダー・スタッフ達のノウハウが十分ではなく、活動が伸び悩むケースも少なくない。

そのため、組織・プロジェクト運営力の強化・改善を進め、現在の NGO・NPO への参加者・協力者・資金提供者および潜在的支援者の思いを的確に把握し、それに応える運営体制を整備していくことで、環境問題解決に向けた活動をさらに飛躍させることが出来ると考えられる。

したがって本基礎研修では、本講座・現場体験・実習を通じて、組織・プロジェクト運営に関する知識・技能（課題発見力・マーケティング力・企画/提案力・マネジメント力〈ミーティングファシリテーション力等〉・コミュニケーション力・広報力・資金獲得力等）を習得する。その上で、個々の団体の特色・実情に適した効果的な組織・プロジェクト運営改善戦略・計画（広報・資金獲得戦略等）を策定し、ヒアリングアドバイスやフォローアップ講座を実施することによって、所属団体内での改善戦略・計画の推進を支援する。また、研修全体を通じて、環境 NGO・NPO スタッフ・中間支援組織・プロボノ・専門家・行政・地域住民・事業者等のネットワーク構築を図り、NGO・NPO の組織運営力・活動推進力向上と環境問題解決に向けた多様なセクターの取組み・協働を促す。

（１）開催日時

本講座（課題抽出/分析/改善案検討等）：10 月 3 日（金）
他機関での現場体験・実習①：11 月 15 日（土）
他機関での現場体験・実習②：11 月 16 日（日）
他機関での現場体験・実習③：11 月 17 日（月）
本講座（改善計画策定/共有等）：12 月 15 日（月）
フォローアップ講座：平成 27 年 1 月 24 日（土）

（２）開催場所

本講座（課題抽出/分析/改善案検討等）：茨城県労働福祉会館
他機関での現場体験・実習①：レンタルスペースノア
他機関での現場体験・実習②：ゆかりの森あかまつ管理棟
他機関での現場体験・実習③：レンタルスペースノア
本講座（改善計画策定/共有等）：茨城県労働福祉会館
フォローアップ講座：茨城県労働福祉会館

（３）各回参加人数

本講座（課題抽出/分析/改善案検討等）：6 名
他機関での現場体験・実習①：4 名
他機関での現場体験・実習②：10 名
他機関での現場体験・実習③：5 名
本講座（改善計画策定/共有等）：6 名
フォローアップ講座：7 名

（４）プログラム・当日の様子

本講座

1 日目：10 月 3 日（金）	
10:00～11:30	オリエンテーション
	ファシリテーター：長谷川 綾子氏（株式会社エンパブリック）
12:20～13:50	講義＆ワークショップ①「ミッション達成･環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ１ ～課題発見力・企画/提案力の強化～」
	講師：長谷川 綾子氏（株式会社エンパブリック）
14:00～17:40	講義＆ワークショップ②「受益者・支援者拡大に向けた NGO マーケティング ～ファンドレイジング・広報戦略・実践手法の構築～」
	講師：長浜 洋二氏（NPO マーケティング研究所）
15:40～16:35	ワークショップ①：各自の課題抽出・分析
	ファシリテーター：長浜 洋二氏・足立 治郎
16:45～17:40	ワークショップ②：改善案の検討と全体でのまとめ
	ファシリテーター：長浜 洋二氏・足立 治郎
17:40～18:00	まとめと次回への準備
	ファシリテーター：足立 治郎（JACSES）
2 日目：12 月 15 日（月）	
10:00～10:30	オリエンテーション
	ファシリテーター：長谷川 綾子氏・足立 治郎
10:30～12:00	講義＆ワークショップ③「ミッション達成･環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ②～ファシリテーション力・コミュニケーション力の強化～」
	講師：長谷川 綾子氏
12:50～13:40	ワークショップ③：改善策の再検討
	ファシリテーター：長谷川 綾子氏・足立 治郎
13:50～14:40	ワークショップ④：改善策への提案
	ファシリテーター：長谷川 綾子氏・足立 治郎
14:50～17:40	ワークショップ⑤：改善計画の策定と共有・全体でのまとめ
	ファシリテーター：長谷川 綾子氏・足立 治郎
17:40～18:00	本研修総括と今後の研修の進め方
	ファシリテーター：足立 治郎

■当日の様子■

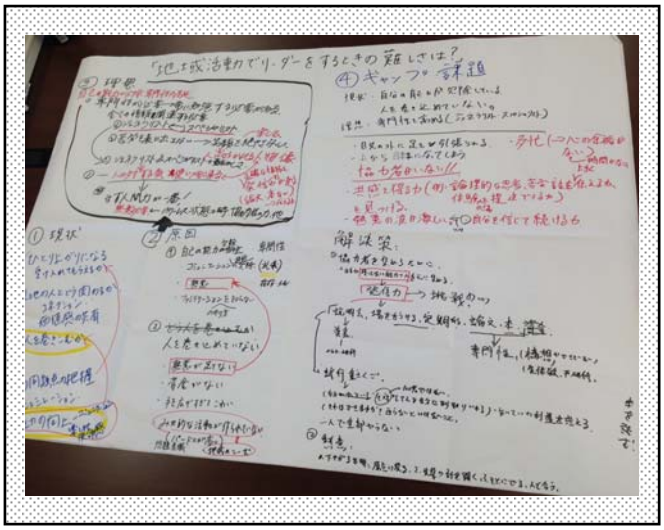
・１日目は、オリエンテーション後、株式会社エンパブリック・長谷川氏による課題発見・企画/提案力の強化のための講義・ワークショップを実施。講義で紹介された優良事例を参考にしつつ、エンパブリック作成のノートやワークシートを用い、参加者が各々の現状や課題について分析・発表。講師や他の参加者より受けた改善策に関するアドバイス・質疑応答を通して、参加者が各々の現状を客観的に把握することが出来た。

・長谷川氏の講義・ワークショップ後、NPO マーケティング研究所・長浜氏によるマーケティングについての講義・ワークショップを実施。NPO 活動におけるマーケティングの重要性に始まり、資金調達・広報戦略についての体系的な知識だけでなく、他団体の優良事例等から実践するための手法についても習得。

〈本講座１日目〉課題発見から解決までの
プロセスを事例から学ぶ

・2 日目は、現場体験・実習の振返り後、長谷川氏によるファシリテーション力強化のための講義・ワークショップを実施。ファシリテーターの役割・ミーティングの円滑な進め方等、組織運営に欠かせない知識を習得。

・その後、エンパブリック作成の行動計画ワークシートを活用し、1 日目本講座および現場体験・実習を通して洗い出した課題を参加者各自で精査。精査した優先順位の高い課題について、改善戦略・行動計画の作成し発表・意見交換を実施。その際、テーマ事に参加者自身が順番にファシリテーターを務め、講義で学んだ内容を実践。ファシリテーションの実践と併せて、講師・他の参加者より助言を受けたことによって、新たな視点で課題を認識することが出来た様子。



〈本講座 2 日目〉ワークショップを通じて、
実践的にファシリテーションを学ぶ

現場体験・実習

11 月 15 日（土）	
実習先／滞在先	**茨城 NPO センター・コモンズ**
ねらいと課題・作業の概要	**NGO 運営マニュアル作成作業及びアドバイザー等からの助言を通して、環境 NGO・NPO スタッフに必要とされる知識・技能（資金獲得・広報に関する基礎的知識/技術を含む）の習得・向上を促進する。**

■当日の様子■

・１日目本講座の振返り後、茨城 NPO センター・コモンズ・大野氏より、茨城県の NGO・NPO の現状・課題やコモンズの取組みについてご紹介頂きながら、NGO・NPO スタッフに必要な資金調達（助成金の検索方法・申請書作成時の注意点）・事業の計画立案等についての知識を習得し、質疑応答を実施。

・その後、ワークシートを使用し、参加者各自の課題抽出・原因分析をした上で改善策を検討。普段は日々の仕事に追われているためここまでじっくり考える事が出来ないとの声もあり、現状と向き合いながら今後の展望を考える良い機会になった様子。ワークシート記入後、現在抱える課題・改善策の素案・そのために必要な資料について発表・共有。大野氏や他の参加者よりアドバイス・コメントを受けた。

改善策について発表・共有

11 月 16 日（日）	
実習先／滞在先	**つくば環境フォーラム**
ねらいと課題・作業の概要	**実習先の実情を鑑みつつ、資金獲得・広報等をさらに良いものとしていくための方策を提案することで、実習先の運営改善に貢献するとともに、実習作業及びアドバイザー等からの助言を通して、課題解決を行う手法・計画を実行に移す際の合意形成の手法・効率性や効果を高める工夫・自らの改善計画の実現可能性等を観察・シミュレーションし、活動強化に必要とされる知識/技術を習得する。**

■当日の様子■

・２日目の現場体験・実習の振返り後、つくば環境フォーラム・田中氏とスタッフ野村氏より、これまでの森林保全活動や今後の活動予定について話を伺いつつ、現場の雑木林を視察。視察後、実習先のこれまでの取組みや現在抱える課題についてご紹介いただき、質疑応答を実施。その後、２つのワーキンググループ（広報・資金調達）に分かれ、実習先の課題に対する解決策を検討・発表。田中氏・野村氏より参加者の提案した解決策へコメントを頂き、実現可能性や実習先にとって効果的な取組みになるかどうかを把握。参加者同士の議論が活発に進み、いくつか実習先に取り入れていただけそうなアイデアも生まれた。

森林保全の現場を視察

11 月 17 日（月）	
実習先／滞在先	茨城 NPO センター・コモンズ
ねらいと課題・作業の概要	NGO 運営マニュアル（広報・資金調達のマニュアル）作成作業及びアドバイザー等からの助言を通して、環境 NGO・NPO スタッフに必要とされる知識・技能の習得・向上を促進する。また、マニュアルの構築作業を通して、本研修を受講してしないスタッフ等の知識・技能の習得・向上を促進するという波及効果もある。

■当日の様子■

・アドバイザーの大野氏より、事業を進めていく上で重要な他セクター（行政・事業者等）との協働について講義を受け、自身の事業でどのようなセクターと連携が可能かを考察。その後、前日までの講座やアドバイザー等からの助言を受けて、課題抽出・原因分析を深め、改善策を再検討。その上で、各自必要な資料（広報・資金調達マニュアル等）の作成を進めた。作業中に生じた疑問点等に関しては、個別相談で都度対応。ある程度作業が進んだ段階で発表・共有。大野氏・他の参加者よりアドバイスを受けた。最後に、大野氏に総評をして頂き、３日間の実習の総括を行った。

実習の成果について発表・共有

ヒアリング・アドバイス

実践期間中の課題等	・受講者は、所属団体の他のメンバーとも共有・協力しつつ、本講座及び現場体験・実習で取り組んだ「組織・プロジェクト行動計画ワークシート作成」「広報・資金調達マニュアル作成」「助成金申請書作成」「広報資料作成」等を進展させた。
ヒアリング・アドバイスの手法	・メール・電話等での受講者からの相談を逐次受け付け、それに対応した。 ・メール・FAX にて行動計画その他資料の作成状況およびその作成に際しての障害・悩みの有無をヒアリング。 ・参加者が作成した行動計画その他資料および表明した障害・悩みに対し、メール・FAX・電話等で助言を実施。
実施記録	・本講座 2 日目終了後～フォローアップ講座開催前：逐次、参加者の相談受け付け。 ・平成 26 年 12 月下旬：参加者へ課題提出・ヒアリング・アドバイスについての確認メールを送付。 ・平成 27 年 1 月上旬：参加者よりメール/FAX にて課題提出（併せて、悩み/障害等がある場合には連絡）。 ・本講座 2 日目終了後～フォローアップ講座開催前：参加者からの相談・課題・悩みを踏まえて、フォローアップ講座に向けアドバイス・コメント。

事後報告会／フォローアップ講座

1月24日（土）	
13:00～13:50	オリエンテーション
	ファシリテーター/アドバイザー：足立 治郎・松井 健二氏（株式会社エンパブリック）
14:00～15:10	受講者による行動計画・進捗・成果発表と助言・意見交換①
	ファシリテーター/アドバイザー：足立 治郎・松井 健二氏
15:20～16:30	受講者による行動計画・進捗・成果発表と助言・意見交換②
	ファシリテーター/アドバイザー：足立 治郎・松井 健二氏
16:40～17:30	活動実践に向けた協働戦略の構築とネットワークの形成
	ファシリテーター/アドバイザー：足立 治郎・松井 健二氏
17:30～18:00	研修に対するヒアリング・総括
	ファシリテーター：足立 治郎

■当日の様子■

・研修1～5日目までの振返りの後、参加者が各自の行動計画内容・進捗状況（フォローアップ講座までに出来たこと・出来なかったこと・今後の展望等）・現在の悩み/障害について発表・共有。特に、資金調達（寄付者獲得、助成金等）に関して課題を抱えている参加者が多く、エンパブリックの松井氏から、自身の NPO 活動での具体例を交えつつ、助成金審査側の視点等新たな角度から様々な助言を受けた。

・その後、他セクター（行政・企業・他の NGO/NPO 等）との協働の可能性について、参加者各々が検討・意見交換を実施。最後に研修全体の総括を行い、研修を通じて一番印象深かったことを共有。実習先の活動に対する姿勢を見て意識が変わった、今まで関わりのなかった団体と情報共有したことで、新たな協働の可能性を検討することが出来た等の声もあった。

他セクターとの協働についてアイデアを出し合う

以上